

(様式2)新規評価シート

農政部 農地整備課

事業名		県営畑地帯総合土地改良事業(担い手支援型)		路河川名等					
事業毎の通番		3	市町村名	松本市	箇所名(ふりがな)	北耕地(きたこうち)			
事業概要	事業目的	本地区の畑かん施設は築造より36年が経過しており、老朽化による破管等により、農地及び農作物への被害が発生している。また、加圧方式による複雑な管路網の配水管理のため、営農に大変苦慮している状況にある。このため、施設更新に併せ、自然流下による管路網へ整備し、施設の操作性の省力化及び日常の維持管理に係る労力の節減を図る。							
	しあわせ信州創造プランにおける位置付け	1-3 夢に挑戦する農業		事業実施の根拠法令等	土地改良法				
	関連する事業、計画等	第2次長野県食と農業農村振興計画、松本市総合計画							
	保全対象・範囲 受益対象・範囲	受益面積: 35ha							
	着手年度	平成27年度	事業期間	4年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)			
	完成年度(見込み)	平成30年度	費用対効果	1.1		国庫	その他	県債	一般財源
全体事業内容(主な工種)	畑地かんがい施設 A=35ha 用水路整備 L=8,100m			290,000	145,000	72,500	72,000	7,750	
年度事業内容(主な工種)	測量設計 1 式			25,000	12,500	6,250	6,000	875	
事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	用水の安定供給の確保と維持管理の軽減							
	間接的効果(定量的・定性的)	耕作放棄地の抑制							
評価の視点	必要性	<ul style="list-style-type: none"> ○受益戸数: 81戸 ○農地利用集積向上率: 4% ○野菜・果樹指定産地: 複数品目で指定あり(キャベツ、きゅうり、たまねぎ、トマト、ねぎ、はくさい、レタス、ピーマン) 						評価	B
	重要性	<ul style="list-style-type: none"> ○関連施策、重要施策との整合: 第2次長野県食と農業農村振興計画、松本市総合計画 ○人・農地プラン: 平成26年3月17日修正 ○畑かんの破管数: 破管数17箇所 						評価	A
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> ○費用対効果: B/C=1.12 ○事業期間: 4年 ○工法検討: 加圧方式から自然圧による散水方式への検討 						評価	A
	緊急性	<ul style="list-style-type: none"> ○用水の状況: 施設の老朽化 建設から36年経過しており、管路破損も多く、老朽化が激しく早期の改修が必要 						評価	B
	計画熟度	<ul style="list-style-type: none"> ○事業情報の共有: 平成25年1月26日に事業説明会を実施 ○地域の取り組み: H25年1月説明会時に要望あり ○住民との協働: 北耕地地区は、畑かん利用組合により維持管理を行う。 						評価	A
	部意見	老朽化による破管等により、農地及び農作物への被害が発生しており、用水の安定供給のため、早期改修が必要である。		行政改革課意見		畑地かんがい施設が老朽化し、農業被害が発生していることから、重要性が認められる。		評価結果	総合評価

事業概要説明図表

標準断面図

①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	本施設は、32haの畑地帯を潤している畑地かんがい施設である。築造から40年以上が経過し、老朽化による施設破損等により、農地及び農作物への被害が発生しており、維持管理経費が高み受益者の負担が年々増加傾向を示している。このような状況を踏まえ、施設更新により畑地かんがい施設の管路網を整備し、用水の安定供給、維持管理の節減、安定した営農基盤を確立することが急務となっている。
②地域からの要望経緯及び地域の関わり	破管等による圃場、農作物への被害が生じ、維持管理費が増加傾向にある。そこで、平成24年度から施設管理である中信平右岸土地改良区が更新整備についての検討を行ってきた。受益者の意向調査を行い、早急な更新整備が必要として、平成24年7月に中信平右岸土地改良区から松本市へ報告されている。
③事業説明等の経緯	平成24年6月に「更新整備の賛否について」のアンケート調査を実施。また、平成25年7月に全組合員を対象とした更新事業に関する意向調査を実施した。平成24年6月から平成25年10月にかけて役員・運営委員による検討会、地元説明会等が複数回が行なわれている。
④他事業・プロジェクトとの整合、関連	平成17年から実施されている国営中信平2期農業水利事業から農業用水を引水しており、一体的に効果を発現することができる。
⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	工事期間中、重機械の振動・騒音・排出ガス対策のため、早期及び夜間の作業を自粛し、排出ガス対策型の機械を使用する。また、表土剥ぎ、表土戻しを徹底し、外来植物等の移入を避ける。
⑥地域活性化への影響と配慮	
⑦その他	

事業代表地点の緯度経度

北緯: N 36° 09' 59.8"

東経: E 137° 54' 40.3"